

# SAT だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

No. 40

発行 (財)東京都スキー連盟  
〒102 千代田区麴町4-5  
第6麴町ビル 551号  
TEL (3262) 2491 (代)  
発行日 H9. 7. 31 発行  
編集 SAT編集委員会  
印刷 エース工芸株式会社



## 代表挨拶

代表副会長 東 和 夫

去る6月20日に行なわれました理事会において、はからずも代表副会長の重責を担うことになりました。至らぬ点が多くあると思いますが、皆様のご指導ご鞭撻とご協力により、少しでもその責を果たせればと思っております。

このS.A.T.便りがお手元に届く頃には、来年度の行事も決まっていることとします。昨シーズンは皆様の要望にお答えして一部実施されたこともあります、今シーズンは約半数が入れ替わった執行部の外から見た立場の考えを入れた行事計画で、少しでも皆様のご要望に添えるようにと前向きに計画されたものです。

また、OA化の実施(9月からの予定)により事務処理、その他迅速正確さ、簡便さなどで、皆様に幾らかですがサービスができるのではなかと考えています。

今後も、皆様の忌憚のないご意見と併せて、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 来期の行事計画と予算

専務理事 小 川 和 雄



来期計画の背景として、残念ながら都連行事も、スキーヤー数の減少傾向などスキー界の厳しい影響を認識せざるを得ません。私たち執行部として来期は、初の行事計画・予算案作成と

なりますが、厳しい背景から新規行事は配慮し、行事数を絞って、一般会計の収入・支出のバランスをとるように努力しました。

しかしながら今まで、度々話にはなってきましたが実現に至らなかった都連のコンピューター化が、今年度から急速に動きだし、来期はその為の投資がピークになると見込まれます。

従来からは、競技本部のポイント算出や、教育本部の準指導員検定行事などに、それぞれの専門委員の個人的協力によってOA化して来たところを、今年度から都連でパソコンを購入しソフト会社にプログラム作成を依頼するなど、組織的にOA化を取り組むよう切り替えを計っています。

さらに、遅れていた都連全体のコンピューター化の見通しも総務本部の総合データベースの構築計画がスタートし、課題の事務局会計事務のコンピューター化も9月実施のメドがたちましたので、この両システムを中心とし、教育本部と競技本部の各現地行事運営システムを両翼として都連OA化が来期実施となりました。

来期の一般会計では、これらのコンピューター投資を約1,500万円計上しましたのでバランスを取ることが出来ず、同額を財務委員会特別会計から繰り入れせざるを得ませんでした。

同特別会計は、都連会館取得基金1億500万円を含め約2億2,300万円を積み立てていますが、設備投資の不足とはいえ一般会計への繰り出しは臨時的なものとして理解しており、いずれ一般会計から繰り戻すことで理事会も了承しております。

なお財務特別会計からは、本年度に60周年記念事業特別会計に1,000万円を繰り入れていましたが、来期行事計画に60周年行事を予定しませんでしたので、この1,000万円は来年度に財務特別会計に組み戻すことにしました。周年行事については社会情勢を考えながら構想を新たに、再来年度以降実施を検討します。

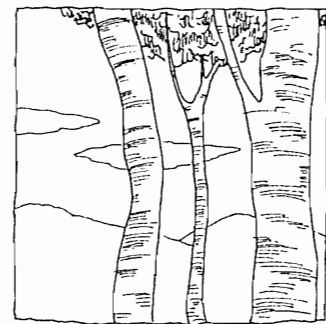
さて、今シーズンの行事は、雪不足による一部の中止や日程変更がありましたが、大部分の行事は順調に終了できて、参加した会員の皆さん、運

営に努力した専門委員の皆さん、そしてスキー場や関係する方々のご協力に感謝いたします。

実は、今月31日に終了する平成9年度の決算見込みは、都連行事参加者数の伸び悩みに加え、平成3年頃に購入した有価証券の処分による処分損570万円の負担などもあり、繰越金ゼロの厳しい決算も覚悟せざるを得ない現状です。

この厳しい決算を基とした来期の行事計画・予算案は、前に述べましたように緊縮に努めたつもりですが、来期の行事運営にあたっては予算の範囲内での行事運営を当然とせず、極力節約に努め、余った予算の返金を目指したいと思えます。

このようにして来期行事運営にあたり、万一事業収支の改善が依然見込まれない時には、平成11年度行事計画・予算案の作成にあたって、都連の思い切ったリストラに取り組みざるを得ないと考えていることを申し添えます。



スキージャーナルのスキー・ビデオ ★好評発売中!



新作スキー・ビデオ

【第2回】  
**国際スキー技術選手権大会**  
税込価格3,980円(カラー30分)宅600

**基礎スキー検定・実技**  
(準指・指導員検定・技術評価の観点)  
税込価格4,883円(カラー52分)宅600

**基礎スキー技能テスト**  
(穴ッ検定5級クラウン種目のポイント)  
税込価格3,262円(カラー42分)宅600

**37人のデモファイル**  
(第25回全日本デモンストラター選手会)  
税込価格3,568円(カラー60分)宅600

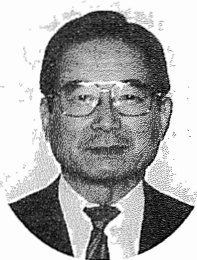
**技術選・快走録**  
(時代を築いた選手たちのあの快走が聴ける)  
税込価格3,980円(カラー60分)宅600

既刊スキー・ビデオ  
**日本スキー教程**  
**日本スキー指導教本**  
各税込価格4,883円(カラー34分)48分宅600  
(書籍版の「教程」指導教本も発売中)

スキージャーナル株式会社  
〒100 東京都千代田区千代田20-1インテックビル  
03(5561)6000(5561)6051  
郵便振替・0010011335504

# ○ A 化の本格的な実施へ

総務本部長 神田 二 男



都連の○ A 化が叫ばれて  
久しい。

総務本部のデータベースの構築、コンピュータ会計の導入が、先進の各部（教育、競技、フリースタイル）に促がされて、ようやく本格化します。

総務本部としては、現状の業務を機械化するだけでなく、業務の大幅な見直しをすることによって、加盟団体や登録会員へのサービスを充実させる○ A 化を目標にしています。みなさまのご理解とご協力を切に願っています。

当面の○ A 化計画は次の3点です。

(1) 会員管理の総合データベースの構築

(2) 会計処理システム

公益法人会計システム「すたんばいみい」  
を導入、習熟操作をして、8月から実施へ

(3) インターネットに「都連ホームページ」  
開設

会員への情報提供、問い合わせに対応できるサービス体制の充実を図る所存です。

## 都連の総合データベースについて

情報化推進委員会

【総合データベースの概要について】

完成すれば、次のようなことが実現できるように  
予算要求をしています。

(提出資料の作成)

前年度の提出資料を基に新年度用の資料を作成します。年齢は1歳増えていますし、新たに資料を所有した人も追加されています。従って、この資料に訂正を加えるだけで報告資料が出来上がりません。

(2) 会員カードの発行

毎年変わるため混乱の多いS A J登録番号やS A T登録番号を固定化し、資格者コードや競技者コ

ードを含めた情報とともに会員カードを一人一人発行いたします。

(3) 行事申し込みのチェックの強化

会員カードにはバーコードも印刷しますので、将来は行事申し込み等の事務手続きにも利用できますが、しばらくの間は会員カードに印刷されたコードを申込書や会費振込用の郵便振替用紙に転記していただくこととなります。

今までは、書類不備であつても受付されることが少なくなく、現場で混乱することがありましたが、今後は申し込み時点でチェックができるようになります。

基礎スキーの追究・・・

## 日高スキー研究所

- ◎ おもなイベント ◎ ・少年スキー教室（12月，3月） ・熟年スキー教室（1月）  
・指導者育成セミナー（理論/実技） ・菅平技術選手権大会（3月）

〒167 東京都杉並区天沼3-30-40-303

#### (4) インターネットの活用

会員の一人一人が行事の概要を記載されているALMANACを所有しているわけではありませんので、各種の問い合わせの電話が事務局に殺到することもあります。そこでインターネットのホームページでこれらの情報が得られるように準備をしています。(ドメイン名はS A T . O R . J Pを既に確保してあります。)

なお、ホームページでは各加盟団体のPRも行えるように検討しています。

#### (5) 問い合わせ用パソコンの設置

全員がインターネットに接続できる環境にあるわけではありませんので、事務局に各種問い合わせ用のパソコンを置き、同様の情報を得られるようにしたいと思います。なお、このパソコンは機械が不得手の方でも利用できるようにタッチパネルで操作できるように考えています。

#### 【データ整備について】

次回の事務担当者会議までには基本的なデータ入力は済ませたいと思います。(すでに約2万5千人の会員データについて入力を開始しています。)今年発行された会員名簿に誤りがあると、そ

のまま入力されてしまいますので、各クラブの担当者の方にお願ひがあります。

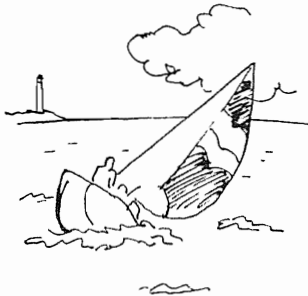
(1) 会員名簿の訂正箇所をまとめて事務局に提出またはFAXして下さい。

(2) 有資格者永久登録カードを更新されていないクラブが多数あります。特に指導員検定に合格した年度や会場の記入漏れが目立ちます。本人または事務担当者の方が事務所に来られて、責任を持って記入するようにして下さい。

#### 【プライバシーの保護について】

プライバシーの保護については十分配慮して行きたいと思います。メーカーからのDMや電話を拒否したいという方もいらっしゃると思います。また、逆に新製品の情報や試乗会の案内が欲しいという会員も少なくないようです。

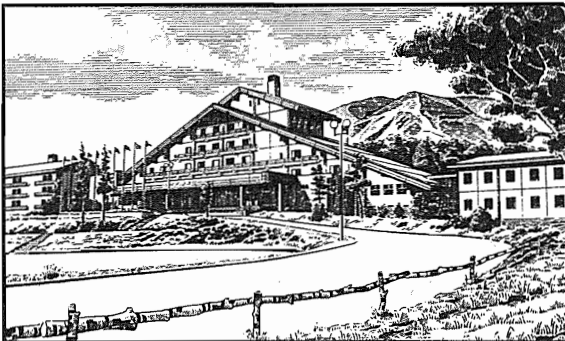
従来、都連ではタックシールに印刷した名簿を販売しているようです。自分の住所を利用されては困るという方には「DM拒否」、名簿に電話番号を載せられると困るという方には「電話拒否」というような項目を会員の一人一人が選択できるシステムなどを検討したいと思っています。



### 総務専門委員の公募

都連OA化の実務作業が本格的に始まります。この分野の知識ノウハウをお持ちで、意義ある事業に参画し、ご協力いただける有志の方を公募します。所属団体長の推薦を得て、ご応募ください。

— 総務本部長 —



スキーのマダラオしか  
知らない人は、  
ちょっと損していると思う。

四季折々、魅力つきない北信濃の楽園が待っています。

上信越自動車道/信州中野I.Cより40分



**斑尾高原ホテル・スキ場**

〒389-22 長野県飯山市斑尾高原

☎0269-64-3311(ホテル) ☎03-3216-2611(東京予約)

# 教育本部

教育本部長 本間 尚



昨シーズンは、混乱の中にも10月の始めに新しい執行部が誕生し、不慣れな中にも、前執行部立案の行事計画に従い、無事に前行事を終了する事が出来ました。一重に皆様および、関係者の方々のご協力の賜物

と感謝致します。

今シーズンは専門委員と執行部とのコンセンサスを充分に取り、昨年の反省も含めて行事計画の検討を行ないました。

1. 肥大化する指導員研修会に対する反応として、理論と実技を切り離して実施する事とし、在京での理論と、土、日を利用して実技を行なうこととした。また年内に2000人規模の研修会を実施することとし、昨年の混乱を少しでも解消出来ればと考えている。又、受付け、申し込に関して、総務本部と充分打ち合わせを行ないスムーズに処理出来る様、最良の方法を取りたいと考えている。

年々増え続ける指導員（昨年準指合格者257名）の割には専門委員の数にも限界もあり大きな問題でもある、しかし土日を利用する事でお互いに参加しやすいのではとの見解で、今年度実施に踏み切った。

2. 専門委員の研修についてですが、各行事毎に講習終了後研修を続けているが、理論構築、検定眼の統一、検定種目の理解、指導力及び技術力の強化等も含め充分な雪上での強化が必要と考えている。

3. 準指検定であるが、行く行くは全日本と同じく同一会期で行う事がベターであると考えている。その点も含め今年は理論検定をマークシート方式で実施し、結果によっては次年度から現地で行なう事が出来ればと、考え、又、OA器のフル活用と検定員（ジャッジマン）の充実を計り実施する方向に努力したい。

4. 技術選、デモ選に関して

来年度はデモンストレーター選考会が併設され新しいデモが認定を受けるデモの活用については言うまでもなく、専門委員の強化、検定会関係、研修会テーマ等デモンストレーターとしての役目は大きく、昨年以上の上位者を出すべく又、将来の専門委員の養成も兼ね候補者の合宿を組みたい。予選会については昨年同様で行い将来は大きなイベントとして発展させるべく努力をして行きたい。

以上の事から教育本部一丸と成って今年度の行事に向かって努力して行きたいと思えます。

海外スキーツアー、  
私たちにご相談ください。03(3203)9630

- 地球を滑ろうSNOW WORLDヨーロッパ・カナダ・アメリカ・ニュージーランド方面
- 南太平洋の島々へBEACH WORLDニューカレドニア・タヒチ・フィジー・ブーケット方面
- どんな旅でも03(3203)1213まで個人から団体・ご出張から社内旅行などご用命下さい。

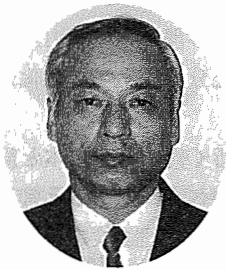
社団法人日本旅行業協会 正会員 運輸大臣登録一般旅行業第351号・一般旅行業取扱主任者橋本健

株式会社 クロサワトラベルサービス

〒169東京都新宿区大久保1-3-14ワールドビジネスセンター新宿5階 FAX.03-3203-9633

# 1997年度行事終了報告（競技本部）

競技副本部長 工藤 則夫



昨年10月6日の選挙により現在の執行体制になり、シーズンイン直近の引継ということもあり、慌ただしく1997年度の事業に取り組んで参りました。新任の競技本部は、会員の皆様に満足して戴けるよう

精一杯事業を遂行してきました。

一部の行事に多少の手違いがありました。が、昨シーズンと同様、専門委員の皆様のご尽力と各行事スキー場関係者のご協力により、全ての事業を滞りなく終了する事が出来ました。本当にありがとうございました。

\*秋田県鹿角市で行なわれた国体入賞者の成績を報告致します。

(大回転)

5位 成年女子A 佐伯 幸 (青山学院大学)

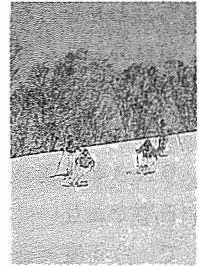
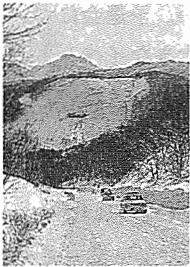
1位 成年男子A 佐藤久哉 (デサント)

8位 成年男子B 大盛宏幸 (小賀坂スキー)

2位 成年男子C 森 輝行 (MAXIMUM)

男女総合 (天皇杯) 10位

少数の選手参加で皆さん大変良く健闘したと思います。お疲れさまでした。



## Shiga Sun Valley

### 車山高原の休日

フラッグシップ・リゾートホテル  スカイパークホテル

での「ゆとりの休団」をお楽しみください。



高原のチャペルで教会ウエディングはいかがですか

### SKYPARK HOTEL

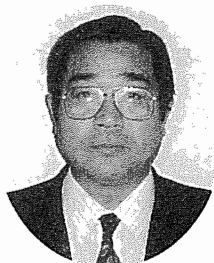
☎ 0266-68-2221

信州総合開発観光株式会社

茅野市ビーナスライン車山高原

# '97安全対策部事業報告

安全対策部長 中澤 義 昭



例年9月末に行なわれておりました準指検定の救急法講習会は指導者養成講習会の中に組み込まれて、10月20日午後在京での実技講習が行なわれた。

S A Jの移行措置である為に2年有効の講習終了の方で救急法のみも受け講習を致しました。

実技A・B会場には雪上における救急法の理論をそれぞれの会場に講師を派遣し実施致しました。

本年度初めてのこころみで行われた、「安全対策担当者講習会」は各加盟団体の安全対策担当者及び公認パトロールを対象にPL法施行に伴う安全管理についての勉強の場を持った。参加予定者を200名とみておりましたが実参加106名と少なくまだまだ安全意識と管理について、関心の薄さがわかりました。

これからの都連及び各加盟団体のスキー行事に於いて、安全対策上欧米並みに、もつともつ勉強された安全対策担当者を置き、実施されることを望んでおります。安対部としては毎年実施して参りたいと思います。

S A J公認パトロール受験者養成講習会は東京都22名(神奈川県連参加含む)の参加で車山高

原で行われました。今回は井上代表副会長、埴財務委員長の見まもる中で熱心に講習が実施されました。

検定会に於いては東京都の合格者は6名でした。私、中澤も受験し合格致しました。50万を越えての受験で日赤の救急法では2週間続けて土日、土日9時より17時まで4日間は日程的に大変でした。ペーパー、ロープ、三角巾とほんとうに良い勉強を致しました。

第12回全国スキーパトロール技術競技大会は3月29日～30日岐阜県、平湯温泉スキー場で行われました。昨年同様、雨になり天候に恵まれず大変でした。本年は男子Aチーム、女子Cチーム、世田谷区スキー協会Bチーム、と都連より3チームが出場し、全国29チームが競い合った結果、昨年6位入賞の男子Aチームは13位、女子チームは23位、ただし女子の部では準優勝致しました。

世田谷Bチームは26位に終わった。雪ナシ都連チームですが来年度は男子6位内入賞、女子優勝の目標をもって練習致します。

安対部より各部への安全管理者として12行事に派遣致しました。今後更に派遣の趣旨、業務内容等を検討し、より安全に行事が推進される様に努めます。

至菅平高原  
上野  
神ノ沢橋  
至神岡J.C.T.  
神科駅 上野  
JA神科農協  
至上田市街  
●及野スノブナス高専

## NIPPON DAVOS SUGADAIRA KOGEN

この秋10月1日新幹線開通・東京から菅平高原まで2時間10分  
車でもJRでも益々便利 粉雪舞うゲレンデが  
今年もお待ちしております

★BY CAR 上田菅平I.C.からたった20分!

菅平高原観光協会

★BY JR

# フリースタイルスキー部事業報告

フリースタイルスキー部長 渡 邊 宏



## シーズン・インは雪不足

‘97年度フリースタイル部雪上行事は、積雪量不足という悪条件により5年の延期と、1件中止という運営上大きな支障をもたらしたシーズン始めとなってしまった。

これらの事後処理として参加を予定していた選手への連絡（他県連盟を含めて）やら、現地との再交渉に忙殺された。

選手達にとっても参加行事の期日変更というのはやはり問題で、日程の再調整や宿舍の再確保やらで大変なことであったと推察している。本年はこれら行事を除いては、協賛各社及び現地の協力や当部専門委員の協力どうり消化することが出来た。

## 世界選手権でのアクロ

2月に行なわれたフリースタイルスキー世界選手権については、別記報告してあるとうり、アクロ競技での田中由香子選手（港区）の偉業は特筆ものである。

## 各種教室

各種教室の開催は、競技会に向けての初級者の導入と、中級者の実力アップを狙って行なった。熱心なコーチングスタッフのリードで若手選手は伸び、中級者は実力を着実に付けた。

## ウォータージャンプ

フリースタイルスキーの特殊性は、空中でのパフォーマンスである。従ってこれに対応出来る空中感覚は絶対必要となる。夏季に於けるウオータ

ージャンプ教室では、初級段階の小さな台から上級者用のビッグな台までである。

上級者はプールの水面から15メートルは飛び上がれる台を使用するが、選手それぞれのテクニックに合った台で技を身に付けさせる方針で臨んで効果をあげた。

## モーグル

最近モーグルの人气が高くなったのは喜ばしいことだ。アクロやエアリアルは特別なバーンや設備が必要となるが、モーグルは一般グレンデのコブ斜面を利用し練習が出来る。こんなところが人気の出た所似かも知れない。

## 理論講習会とジャッジへの道

競技運営講習と、ジャッジ講習を行なったが、これは専門委員の中で資格を持った人の勉強を含め、これから資格を担う人の為のものであるので、興味とやる気のある方はどしどし参加申込みをしてください。

出発の順番を待ちながら最高のコンディションで試合に望む選手も同様だ。

## 結び

いづれにしろ総ての競技似是純白の雪と抜けるような青空が最高に望ましい。特に風に影響されるエアリアルに於いては無風晴天が最高の舞台になる。まあいろいろある条件を乗り越えて、好きでやっているフリースタイルスキーの観客動員を計りながら盛んに行きたいと考えながら、本年度の行事報告をする。

## (追記)

‘97年月にS A J・F.S.S.教程が発行予定。

## ‘97 F. S. S. 部事業報告

実施日	行 事 名	場 所	摘 要
‘96.8.24～25	第12回東京都ウォータージャンプ選手権大会	猪苗代	
‘96.8.23～24	オフトレ（ウォータージャンプ）（B） （専門委員研修会）	都連	中 止
‘96.10.20	競技運営講習会		
‘96.11.3	ジャッジ講習会	チザキビル	



'96.12.20~22	エアリアル教室 (A) 兼テクニカルポイント認定会	斑尾 "	延期 "
'96.12.22~23	第1回東京アクロ競技会	爺ヶ岳	延期
'97.1.10~11	モーグル教室 (B)	浦佐	延期
'97.1.11~12	第2回東京都モーグルポイント認定会	浦佐	延期
'97.1.23~26	第16回東京都F.S.S.選手権大会 兼全日本F.S.S.東京大会	猫魔 猪苗代	エアリアルは中止
'97.2.10~11	第5回東京都モーグル競技会	斑尾	期日変更実施
'97.2.28~3.1	モーグル教室 (B)	浦佐	"
'97.3.1~2	第2回東京都モーグルポイント認定会	浦佐	"
'97.3.8~9	第1回東京都アクロ競技会	爺ヶ岳	<u>実施予定</u>
'97.7.26~27	オフトレ (ウォータージャンプ) (A)	猪苗代	

## F.S.S.世界選手権大会見聞記

フリースタイルスキー部 渡邊 宏



向かって左、田中由香子さん 右、筆者

2月に飯綱高原で行なわれたフリースタイルスキー世界選手権大会で朗報が飛んだ。

7日のアクロ競技で田中由香子選手（港区スキー連盟）が見事4位に入賞したことである。オリンピック及び世界選手権を通じて日本女子選手として初の快挙となった。

都連からの視察派遣で幸いにもこの演技を見ることが出来た。田中選手は予選を3位で通過（一般紙でもこの成績は大きく扱われた）、決勝では最後から3番目にスタートし、音楽に乗り普段と変わらぬ切れの良い技を次々と決め、観衆を魅了した大きな拍手を浴びた。

競技終了時のやるだけやったという満足した顔が特に印象的であった。

### メンタル面の充実を見た

競技ではいかにメンタルな面の充実が重要かこれは日頃より練習を積み重ね鍛えぬいた技に対する自身の裏付けがあつてこそだ。これにより本番で集中力を発揮し得ることになる。

選手に取って2年に1度の世界選手権大会は、毎年世界を転戦するワールド・カップと違った重みのあるものであろう。

### 選手を続ける決意を表明

5月になり田中選手の入賞を祝う会が持たれた。その席上で彼女は来シーズンも競技を続けることを表明した。

これは本人にとつてもまたまた大変なことだと思ふが、私達関係者にとってはうれしいことなのである。

今後も田中選手に協力しながら後継者の育成や、更なる目標となつてもらい、アクロ競技の底辺拡大を都連としても組織をあげて尽力したい。この原稿をかいている今、田中選手はアメリカで自主トレに励んでいる。

### オリンピック種目へ願望

エアリアルとモーグルは今回の大会では入賞者が残念ながら出なかった。それにしても一番メダルに近いアクロ競技がオリンピック種目になつていないのが口惜しい思いがする。今後種目として取上げられるように努力を続けたい。

### 会場運営についての所感

今回の大会は関係者の努力と、スポンサーの協

力により一応目的を達成したと思うが、会場運営について気付いたことを述べたい。

入場料を払ったお客さん達は先ず仮設階段を上り会場方へ導かれる。目の前に広がる緩斜面のゲレンデを皆んなゾロゾロツボ足で上らされる。(場内はスキー装着禁止となっている) このゲレンデの右側には併行してガラ空きのリフトが運転中、このリフトはI・Dカードを首に掛けている人だけが乗れることになっている。何ともつたないことである。

此処へやってくるお客さんの多くはスキーの心得のある人達であろう、料金を取って乗せるよう考慮して欲しいものだ。選手や関係者の優先乗車はいうまでもないことである。

「関係者以外立入禁止・STAFF ONLY」の立札も目立つ、或る程度の規制は必要だが観客に対してあまり強制するのはいかがなものか。

それと反対に夜長野市内での表彰式会場は、リ

ラックスマードで盛り上がりいろいろな国の人達とのコミュニケーションが出来た。まして樽酒も振るまわれ冬の夜空の下寒さを吹き飛ばしにぎわった。

#### もうひとつの規制

競技バーンは周りにネットを張り、2mぐらいの間をおいて2重にその外側にネットを巡らせてある。この場所は報道各社と関係者のみ入場出来る。一般客はその外側のあまり足場の良くない所で立ったまま応援したり見物する。

最近の傾向としてカメラを持っている方も増え、良い位置で撮影をしたいという願望もある。内側に入る外国の人は背が高いので当然の人は見にくいことも忘れないで欲しい。

入場料を払っても来てくれるお客さんを大切にしないと、客離れを起こす恐れがあるのではないか。

都連フリースタイルスキー行事も観客動員しやすいスキー場を考慮し、今後の運営方針としたい。

## 社会体育指導者移行講習会について

担当理事 東 和 夫

SATでは、社会体育指導者への移行を4年前まで凍結されておりました。しかし、希望者多数という理由から凍結を解くことになり、5年の猶予期間を頂き、平成7年度より、B・C級の移行講習会を主管し実施しております。受講資格は、平成2年3月までに準指導員を取得した人はB級まで、同じく指導員を取得した人はA級まで移行することができます。尚、A級についてはSAJ主催で別途要項により実施されます(例年7月末か8月上旬)。これらの実施要項は、各クラブ事務担当者宛、都連から送付しております。

今年度までの状況をお知らせします。平成7年度受講者約90名、8年度約700名、今年度約320名でした。

来年度も、有資格希望者を対象として、今年度

と同じ項に実施する予定ですが、今年度の実施状況からみる所、人員も減少しているもので、B・C級それぞれ2回づつ実施し、猶予期限は再来年度まで許されていますが、来年度を以て移行を終りにしたいと考えております。その後、平成3年以降に資格を取得された人の免除措置の方に切り換えていく予定です(それまでにはSAJの実施要項の判然とした指示があると思います)。

このような理由で、出来れば有資格希望者は、来年度受講されるようお願い致します。

尚、C級教師の移行について問合せがありました。教師の移行は、全日本スキー連盟が直接行っているもので、C級移行はすでに終了しているとのことです。御了承下さい。



## 青山スキークラブ

会長 飯島 淳

## 四半世紀を越えて

今からさかのぼること25年前、当時週末になると尾瀬戸倉スキー場に通っていた尾瀬スキー同好会と国学院大学スキー部OB関係のグループが主体となり、昭和47年に約60名で「青山スキークラブ」は都連に仲間入りをしました。「青山」の由来は当時の事務局の所在地にちなんで命名したものです。当時は有資格者も少なく講習会や検定会も開催することができませんでした。昭和51年には念願がかなない始めてクラブ単独で講習会と検定会を実施できるようになり、今日に至っております。

さて、当クラブも関係各位のご指導ご助力のお陰様で何とか25年の歳月を歩いてくることができ、現在では会員数約120名、正指導員5名、準指導員12名となり、まがいなりにも一人前のクラブに成長することができました。年間行事はスキースクールに始まり、1月・2月に合宿、そして3月の検定会、四月・5月に春合宿を実施しています。またスキー上達を目指す熱心なクラブ員はオフシーズンにもザウスに通い続け、オフシーズンは無いというスキー狂もいます。一部にはゴルフの方が、などと雪の上でもストックでスイングチェックに余念のない者がいることも事実ですが…。

当クラブの特徴としては、共通の職場や地域性などの母体となるものが全くなく、単に口コミで集まったスキー好きの(チョツピリ酒好きの)集団であるということです。最近では新入会員も多く、クラブも活気を増しており、スキー不人気など何処吹く風、そんな現状をお伝えしてクラブの紹介といたします。

## 青梅市スキー連盟

大島 進

## スキー好き! 青梅です!

青梅といえば青梅マラソンで広く知られていますが、東京多摩地区でも西の端に位置し、休日ともなるとハイキング客などで賑わいをみせます。

当クラブも青梅市体協傘下の「地域の団体」として都連加盟25周年を迎えようとしています。毎年新しい仲間も加わり、会員は約80名、指導員有資格者は21名を数えるまでになりました。年齢層も広く最近ではクラブ運営は設立当初の諸先輩方から次の世代へと徐々に引き継がれつつあります。

活動としては夏から秋にかけての親睦テニス&バーベキューのサマートレーニングを始めとしてスキー教室を4回、スキー合宿1回、市民スキー大会1回が恒例の行事となっています。

スキー教室は毎回盛況で予約受付当日には、ほぼ満杯となり、市民のスキーに対する関心の高さが伺えます。参加者には技術向上はもとより、自然に接することやアフタースキーをも含めてスキー全体の楽しさを感じてもらえればと思っています。(アフターが得意な芸達者が多いのも特徴!?)

最近の進化・変化する技術やマテリアルを取り入れ、活かしていくには指導者の研鑽も欠かせません。

市民スキー大会は受付から表彰式まで、全てクラブ員による協力で運営していますが、この頃は大会パーンの確保に苦労します。

競技スキーをもっと気軽に楽しめるよう、また選手育成にはポール専用パーンの拡充が望まれるところです。次のシーズンが待ち遠しい。シー・ハイル!

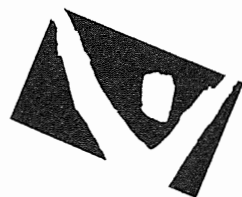
SKI &amp; ALL SPORTS GEAR

ミナミ神田本店シティ1

Tel.03-3294-3731

〒101 東京都千代田区神田小川町3-1

JOY OF SPORTS.



Minami

## 日野市スキー連盟

事務局 清水 敏 則

日野市スキー連盟は、昭和48年、立川市スキー連盟の紹介で東京都スキー連盟に加盟し、翌49年のシーズンより本格的な活動が始まりました。

まずは、指導員の育成に始まり、スキー教室を通しての仲間作りとスタッフ一丸となり24年間頑張ってきましたが、その間に指導者が出来ないこと、教室の生徒が集まらないことなど色々苦労がありました。色々な人達にお世話になりながら今日に至っております。

ここ2、3年前から若い人達のスノーボードの普及により2本のスキーヤーの減少から我々のスキー教室を今度どのように運営して行くかが、どのスキークラブにとっても一番の課題ではないでしょうか。

また、今後ゲレンデでのボーダーとスキーヤーの共存を考えると事故防止に対処しなくてはなりません。

私の考えでは、スキー教室・検定など行事の際にはパトロールが現地のパトロールと協議し安全への配慮を万全にするために、今度各クラブに公認パトロールの育成を義務付け現地との交流を深め、都会のスキーヤーもボーダーも安全で楽しいゲレンデになるよう東京都スキー連盟全体で考えて欲しいと思います。

日野市スキー連盟では若い人達をはじめ大勢の入会を心よりお待ちしておりますのでどうぞよろしくお願い致します 0426 (75) 7625 清水 迄

## よろしく ウィンズです

会長 岩 立 一 也

当クラブは平成6年7月に旧名内外スキークラブからウィンズスキークラブと団体名を変更しました。同時にクラブ代表、役員が大幅に入れ替わり新しいクラブとして活動を始めました。

都連のクラブ登録としては、旧内外S.Cから通算すると、24年目になります。

現在クラブ員は80名、会長1名・副会長2名・役員20名で運営活動しています。

活動は、級別テスト2回・合宿3回・クラブ内スキー大会1回とシーズン6回の行事を行なっています。

シーズンオフとしてはザウスでのスキートレーニング、テニス等による体力アップ合宿を行なっています。

クラブの目的としては、安全で楽しくスキー技術が向上でき、又心身共に安らげるクラブにしていきたいと思えます。目標としてはスキー技術選手権大会本選に出場できるスキーヤーを育てて行きたいと考えています。

クラブ登録としては長いのですがまだ3年あまりの若いクラブと同様です。ご支援ご指導のほど宜しくお願いしたいと思います。最後になります。が団体名変更の際、都連役員の方々には大変お世話になり又クラブ紹介者となっている志賀高原スキーS.Cの大島国民先生、並びに多数のクラブの方々にはご心配ご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ありませんでした。これから素晴らしいクラブになれるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

## 編集後記

今回のSAT便りは、代表副会長の交代があったことにより、発行日が遅れたことをここにお詫び申し上げます。

都連は、OA化の実施に本格的に取り込むことにより、登録手続きを簡略化し、スピーディで正確な会計処理を行い、会員カードの発行により一人一人の情報を適切に処理できるシステムを導入しつつあります。これからも、都連会員の皆様にお役に立てるSAT便りを作るため、努力する所存です。

編集者

委員長 中嶋 淳

編集委員 本間毅一 三瓶一男 塚本哲夫 蒔野秀治 海老沢晃 藤雄比佐夫  
川淵 誠 土屋東明 花田知之 斉藤かおり 内田修子